

【用語集】

可動式ホーム柵

ホームと電車の上にゲート状の柵を設け、乗降客の線路への転落、電車との接触等の事故を防止するものです。普段は閉じており、列車の到着時のみドアの位置の柵が開きます。関東近郊では、つくばエクスプレス線、都営地下鉄三田線等で採用されています。

交通結節点

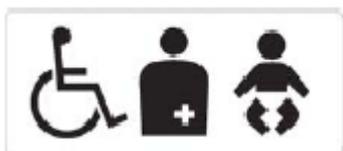
電車とバス、バスから別の路線のバスなど、交通手段を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設のこと。交通結節点は、移動の一連の動きの中のひとつの重要な要素であり、「つなぐ空間」と「たまる空間」としての役割を有しています。

コミュニティバス

地方公共団体が、住民福祉の向上を図るため、交通空白地域・不便地域の解消、高齢者等の外出促進、街の活性化などを図ることを目的として、自らが主体的に運行を確保するバスのこと。

多機能トイレ

車いす利用者や人工肛門等を利用している人、おむつの取替えが必要な人、その他広いスペースが必要な人などが円滑に利用できる設備を備えたトイレ。手すり、オストメイトのパウチの洗浄機能、おむつ交換シート等の設備を備えています。



多機能トイレ表示の例

透水性舗装

雨水などが路面を通り抜け、土にしみ込む構造の新しい舗装技術のこと。水たまりができにくいので、雨天時でも滑りにくく、安心して歩けます。

ノーマライゼーション

年齢や、障害の有無にかかわらず、当たり前、普通(ノーマル)に生活すること。1950年代にデンマークのバンク・ミケルセン氏が、知的障害者の入所施設の状況を改善する考え方として提唱しました。

ノンステップバス

出入口の段差を無くし乗降を容易にしたバスのこと。バリアフリー新法では、平成22年までに総車両数の30%をノンステップバスとすることを目標にしています。

バリアフリー

障壁(バリア)がないということ。1974年に刊行された国連障害者生活環境専門家会議の「バリアフリーデザイン報告書」では、階段や段差等の「物理的障壁」と、人々の感情などの「社会的障壁」の存在を指摘しています。1995年の「障害者白書」では「物理的な障壁」「制度的な障壁」「文化・情報面の障壁」「意識上の障壁」を挙げています。

モビリティ

「たやすく動けること」という意味。

ユニバーサルデザイン

子どもから高齢者まで、あるいは身体等に障害があってもなくても、すべての人にとって安全で、使いやすく、わかりやすいデザインのこと。1980年代にアメリカの建築家、ロナルド・メイス氏が提唱しました。